

# まちとしよ

～大石田町立図書館 information～



Web OPAC  
PC・スマホ版

- ◆ ☎35-3877 ◆ 公式HP <http://niji.town.oishida.yamagata.jp/library>
- ◆ 大石田町立図書館蔵書検索システム(WebOPAC)から蔵書の検索や貸出状況、新着情報の確認などができます。利用者登録をしている方は、貸出中の図書を予約することができます。詳しくは図書館にご確認ください。

- 開館時間 午前9時～午後7時(日曜日・祝日は午前9時～午後5時)
- 休館日 毎週木曜日(祝日の場合翌日) 《6月の休館日》4日(木)、11日(木)、18日(木)、25日(木)

図書館開館時間変更のお知らせ 虹のプラザのワックス清掃のため開館時間を下記の通り変更します。

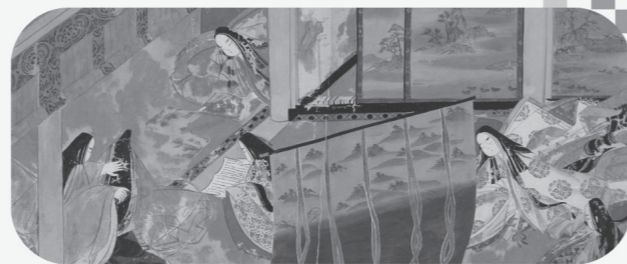
6月3日(水曜) 9:00～15:00 6月5日(金曜) 10:00～19:00

ご不便をおかけし申し訳ございません。お確かめの上ご来館くださいますようお願いいたします。

声でたのしむ

## 源氏物語

(令和8年度読書会 全3回)



県内では大石田でしか聞けない大場先生の楽しい解説や朗読を交えながら、源氏物語の奥深い世界を堪能しましょう

第1回

第2回

第3回

時間

5/9 土 ・ 6/13 土 ・ 9/5 土 午後2:00～午後3:30

会場 大石田町町民交流センター「虹のプラザ」2階中会議室

講師 大場 玲子 氏 (町内出身・元高校国語科教員) 参加費 無料 (1回のみ参加可)

## 今月は、どの本を読む?

新着本から話題の本・おすすめ本を紹介します!



### 『記憶の鍵盤』

(緒乃ワサビ//著 新潮社)

ピアノの音を失いながらも懸命に生きる高3の歩人。想いを寄せる空手女子との関係は曖昧なまま、未来の記憶を持つという不思議な少女の導きが、歩人の運命を大きく動かし始める。未来と過去が絡み合う三角関係のゆくえは…。



### 『阿川佐和子のきものチンプンカンプン』

(阿川 佐和子//著 世界文化社)

母が亡くなり、実家の始末をしていたら、大量のきものが出てきた。娘の私が受け継いで、もう一度袖を通そう…。阿川佐和子の等身大のきもの奮闘記。「家庭画報特選きものSalon」「家庭画報.com」掲載を書籍化。

### 『ダックのフルーツポンチ!』

(gaagaaS//作、いりやまさとし//絵 世界文化社)

あひるのダックのつくるフルーツポンチは、森の動物たちに大人気。今日も次から次へとたくさんのお客さんがやってきて…。YouTubeで人気のうたあそびユニット gaagaaS によるダンス楽曲から生まれた絵本。



### 『春風の魔法使い』

(紫野//作、ちばみなこ//絵 BL出版)

5年生になって転入してきた唐くんは、中国から日本にきたばかりで、日本語はまだ少ししか話せない。国語の時間、唐くんは漢詩「春暁」を中国語で読んでくれた。それは、わたしにはまるで音楽のように聴こえて…。



※源氏物語絵巻出典：国立国会図書館「NDLイメージバンク」 ※紹介文引用：「TRC MARC」。すべて町立図書館蔵書。



## 小・中学校共通のスローガンが決定しました



### One Team

～「あい」と「笑顔」で虹をかける～

- あい・・・私(1)自身の個性を輝かせよう。郷土愛など様々な愛を育もう。愛を持って仲間を大切にしていこう。学びあい、助けあい、高め合おう
- 笑顔・・・みんなが笑顔で楽しい学校生活を送ろう。あいさつ、協力から笑顔を広げよう。いじめのない笑顔いっぱい为学校にしよう。
- 虹をかける  
友達や学年を超えたつながり、地域とのつながりを深めよう。大石田町を象徴する虹のように輝き、学校生活をより豊かに彩りのあるものにしよう。



令和8年2月17日に大石田中学校を会場に「大石田町子どもサミット」を開催しました。

「どんな学校にしたいのか」「どんな児童・生徒を目指すのか」について、各学校での事前の話し合いの内容を受け、中学校の代表生徒が提案する小中共同スローガン(案)についての意見交換を行い、全員が納得できた小中共同スローガンが決定しました。

小中学生みんながひとつになり、小学校統合に向けて、「One Team」で取り組んでいきます。

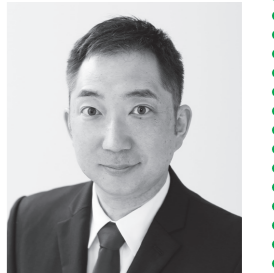
■教育文化課 学校教育グループ  
☎35-2111(内線252)

町長コラム

## 「次世代へ虹をかける」

『遠回りの中に見える景色』

vol.29



こんにちは！周囲の山々の緑も深まり、過ごしやすい季節となりました。田植えも最盛期、忙しい日々が続く方が多いかと思いますが、お体に気をつけてお過ごしください。

先日読んだ記事に、今の子どもたち、いわゆるZ世代は「タイプ(タイムパフォーマンス)」を重視する人が増えているとありました。早く結論を知りたい。失敗したくない。できるだけ無駄なく、正解にたどり着きたい。「回り道」失敗。「遠回り」は損。そんな感覚を持つ子どもも少なくないようです。

今は、知りたいことがあれば、すぐにネットで調べることができます。山登りに例えれば、昔は自分の足で山道を登り、決して一直線ではない、ぐねぐねとした山道を遠回りしながら、ようやく頂上の景色にたどり着く時代でした。ところが今は、山に登らなくても、ネットで頂上の景色を見ることが出来ます。

便利な時代だからこそ、遠回りの中であらうないものを、どう伝えたいか。そこに今の子育ての難しさがあるように思います。

ただ子どもたちにゴールまでの苦労話やつらい話を語るだけでは、なかなか心には響きません。大人がすべきことは、無理に昔と同じ山を登らせることではなく、その子の好きなこと、興味のあることを見つけ、深く掘り下げられるよう支えることではないかと思えます。好きだからこそ夢中になり、続けていける。その中で失敗も悔しさも自然と経験していくのかなと。

子どもたちの「好き」を急がせず、比べず、温かく見守る。その子にしか見えない景色があります。大石田の子どもたち一人ひとりの歩みを、これからも応援していきたいと思えます。

大石田町長 庄司 中